

ゼミ交流会の発表用スライドについて

ゼミ交流会では複数のグループに分かれて研究発表を行います。グループが別々にスライドを作成すると、統一感がなく雑然としたものになってしまいます。そこで、プレゼン資料を作る際は、ゼミで**共通のフォーマットを使用**することにします。

1. ゼミ共通フォーマット

共通フォーマットは、ゼミの Web ページの「ゼミの掟」からダウンロードできます。

色のバリエーションは5種類用意してありますが、他の色に変更しても構いません。一括でテーマカラーを変更する方法は最後に説明します。

図1：共通フォーマットのイメージ



2. 見やすいスライドの作り方

見やすいスライドを作るには、シンプルなデザインにすることが重要です。シンプルにするには以下の点に注意します。

- ① 1枚のスライドに情報を詰め込みすぎない（1スライド1テーマ）
- ② 全体を通じて文字の書体、大きさ、使用する色は2～3種類に抑える
- ③ 表は罫線を少なくする
- ④ グラフ要素（棒グラフや折れ線、軸ラベルなど）を太く、大きくし、落ち着いた色使いに変更する

ゼミの共通フォーマットは、これらの点に配慮して作成されています。

3. 共通フォーマットの使い方

共通フォーマットには、表紙、目次のスライドと非表示の箇条書き、表、グラフ（縦棒、折れ線、散布図、円）のサンプルが含まれています。このうち、表紙と目次は必要事項を書き換えて使用します。それ以外は、以下の手順で使用します。

- ・スライドの内容に応じて、非表示となっているスライドをコピーする
- ・スライドを表示し（ウィンドウ左のサムネイルで右クリックして「スライドの表示」をクリック）内容を書き換えて使用する

以下、それぞれのスライドについて説明します。

①目次スライド

目次スライドは、数字を太字にし、テーマカラーと同じ色にしています。目次を増やしたい場合は、行をコピー&ペーストとして使用します。

7行まで増やせますが、さらに増やしたい場合に行間を詰めることで、ある程度は対応できます。しかし、目次が多すぎても良くないので、全体の構成がわかる程度の数にとどめておきましょう。

②箇条書きスライド

箇条書きスライドには、見出し、本文、箇条書きスタイルが設定されています。

「見出し」と「本文」を切り替えるには、「ホーム」タブの「インデントを減らす・増やす」ボタンで行います。



「本文」を「見出し」にするときは「インデントを減らす」をクリックし、「見出し」を「本文」にするときは「インデントを増やす」をクリックします。本文を箇条書きにする場合は「箇条書きボタン」をクリックします。

③表のサンプルのライド

表のサンプルは、罫線が多くならないよう両端は罫線なしとし、横罫線も主要なものだけとして、行が見やすいように1行おきに色を変えています。

- ・行・列の数、列の幅、表の高さ、横幅：適宜変更可
- ・表中の文字サイズ：できる限り変えない

強調したい部分を太字にするなどの変更をしても良いが、見た目のバランスが崩れないよう注意する

④グラフのサンプルのライド

グラフは他人が作成した既存のものやエクセルで作成したものを貼り付けるのではなく、グラフのサンプルのデータを編集して作成しましょう。

グラフのサイズはむやみに変更しないようにしましょう。縦横が崩れた不恰好なグラフとなったり、ページごとに大きさが異なってしまったりして、統一感が損なわれるからです。

折れ線グラフや円グラフのデータ要素が多い場合は、グラフが読みにくくなりますので、4種類（多くて6種類）程度にとどめるよう心がけましょう。

ただし、散布図でデータが多い場合は、共通フォーマットをそのまま使うと見にくくなる可能性もあります。この場合は、全体のバランスを損なわないよう、また軸ラベルなどの文字の大きさにも注意しながら、エクセルのグラフを貼り付けてもいいことにします。

4. 共通フォーマット使用時の注意

共通フォーマットでは、文字の書体は読みやすい「游ゴシック体」とし、文字の大きさを見やすいサイズに設定してありますので、**書体、文字サイズは変更しない**ようにしてください。

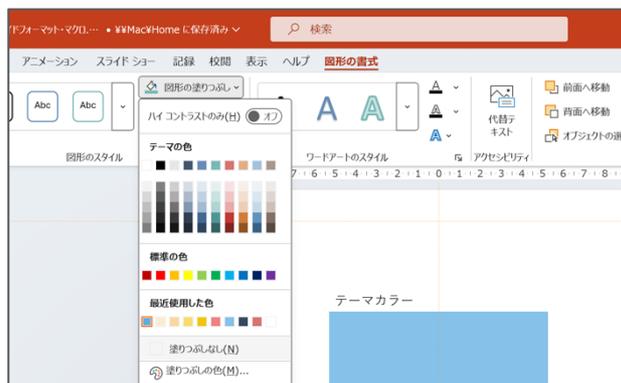
標準の文字サイズではライド内に表示したい情報が入りきらない場合、ライド内の情報量が多すぎると考えてください。その場合はライドを複数枚に分けるか、文字数を減らすことにより対応し、**情報は必要に応じて発表時に口頭で補足**することにします。

ただし、報告内容によっては文献や資料の文章を長めに引用したい場合があります。この場合は、「タイトルのみ」のレイアウトを使用し、テキストボックスを作成して文章を引用します。文字の大きさは、できる限り共通フォーマットの標準サイズ（28ポイント）に近いサイズを選びましょう。

5. テーマカラーの変更方法

共通フォーマットが含まれる zip ファイルの中に、「スライドフォーマット・マクロ.pptm」というマクロ・プログラムが含まれているファイルがあります。このファイルを起動すると、**マクロを有効にするかどうか**を尋ねてきますので、「コンテンツの有効化」または「有効にする」をクリックし、以下の手順でマクロを実行します。

- 最後のスライド9（非表示）の真ん中に四角形があるので、この図形の色をテーマカラーに設定したい色に変更する（右図を参照）
- 「表示」タブの一番左にある「マクロ」ボタンをクリックし、changeColor を選択して「実行」ボタンをクリックする
- ファイルを「名前をつけて保存」する。ファイルの拡張子は pptx とし、「マクロなしのプレゼンテーションとして保存しますか」と聞かれるので「はい」を選択する



図形の色は、図形をクリックし、「図の書式設定」タブの「図形の塗りつぶし」から設定する

以上